

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2021年 2月 25日

事業所名：パンダキッズ中央 児童発達

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	食事、室内活動などの時間を区切って使用できるスペースが確保されている。	11名の回答のうち、10名の保護者から「はい」という回答を、1名「分からない」と回答をいただきました。	今後も事業所内だけでなく、近隣の公園での活動も積極的に行ってまいります。
	2 職員の適切な配置	保育士を持っている職員がほとんどで、適切に配置ができています。	11名の回答のうち、10名の保護者から「はい」という回答を、1名「分からない」と回答をいただきました。	配置人員の抜け等がないよう確認とともに記録を残していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内においてはトイレの入り口にのみ段差がある。	11名の回答のうち、9名の保護者から「はい」という回答を、2名「分からない」と回答をいただきました。	改善不可能なトイレの段差に関しては、今後も注意を促して活動していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	必要な清掃活動は毎日行っており、感染等を防ぐための消毒や検温も徹底している。	11名の回答のうち、11名の保護者から「はい」という回答をいただきました。	清掃、消毒を今後も清潔な環境を提供できるように努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員6名のうち、6名が「はい」と回答。毎週の職員会議で十分行えている。		今後も、日々の活動内容の充実に繋がられるように共有していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	職員6名のうち、4名が「はい」と回答。2名が「わからない」と回答。		開所間もないため外部からの評価は受けていません。必要の可否により、今後進めていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員6名のうち、1名が「はい」と回答。2名が「どちらともいえない」と回答。		知識向上のための研修については、必要に応じピックアップし参加と提示を行い参加していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	職員6名のうち、6名が「はい」と回答。計画作成会議も行い作成している。	11名の回答のうち、10名の保護者から「はい」という回答を、1名「分からない」と回答をいただきました。計画書からも、子どもの成長を感じることができると回答いただきました。	現状の評価と課題、ニーズを保護者の方と一緒に話し合う場を作っています。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	職員6名のうち、6名が「はい」と回答。個別と集団の項目に分け計画作成会議も行い作成している。		各児童の個性や状況を理解し、保護者の方と話した内容から計画書を作成しています。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	職員6名のうち、6名が「はい」と回答。細かく項目を設けて作成している。		現状の評価と課題、ニーズをしっかりと共有させていただき、明確に提示できるようにしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	適宜必要性を視野に入れた支援を目指して行っています。	11名の回答のうち、10名の保護者から「はい」という回答を、1名「分からない」と回答をいただきました。	定期的に話し合う場を設けているため、今後も続けていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員6名のうち、6名が「はい」と回答。リーダーを中心にプログラムを立案している。		今後も支援リーダーを中心に、週案を立案し積極的に動きやすい環境を設定していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	職員6名のうち、3名が「はい」と回答。3名が「どちらともいえない」と回答。緊急時に備え、休日、時間外においても管理者携帯はつながるようにしている。	11名の回答のうち、10名の保護者から「はい」という回答を、1名「分からない」と回答をいただきました。また、連絡ノートから、色々な活動に取り組んでいることが分かりますと回答いただきました。	現状を維持しながら必要時には対応をしていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	職員6名のうち、6名が「はい」と回答。リーダーを中心にプログラムを立案している。		児童の成長に合わせたプログラムの設定、季節に沿った活動など今後も続けていけるようにしていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	職員6名のうち、6名が「はい」と回答。職員連絡ノートで、毎日朝に確認を行っている。		今後も、職員連絡ノートで確認を行っていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	職員6名のうち、6名が「はい」と回答。職員連絡ノートで、毎日帰宅時確認を行っている。		今後も、職員連絡ノートで確認を行っていきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	職員6名のうち、6名が「はい」と回答。業務日誌で毎日記録している。		今後も継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	職員6名のうち、6名が「はい」と回答。毎週の職員会議で議題として上がった課題を整理し、見直しを行っている。		定期的に状況と目標の確認を行っていくことで、適切な時期での計画の見直しを行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	職員6名のうち、5名が「はい」と回答。1名が「どちらともいえない」と回答。		必要に応じて、参加していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアが必要な児童の利用登録がありません。		必要時には、連携していきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療的ケアが必要な児童の利用登録がありません。		必要時には、連携していきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	ご家族の意向や同意のある場合、必要な情報共有を行っている。		今後も、ご家族の意向や同意のもとにすすめていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在、該当年齢の利用者様がいません。		児童発達支援事業所の為、該当年齢の利用者様が今後もいません。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要時には連携して、連携を取っている。		必要時には、連携していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナ渦ということもあり、交流を控えました。	11名の回答のうち、8名の保護者から「わからない」という回答を、1名「分からない」と回答をいただきました。	状況を見て、機会があれば交流していきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	ハロウィンでは、地域のお店の方にご協力いただき、お菓子を配っていただくなどの交流を行った。	ハロウィンでの交流報告で、「はい」と回答をいただきました。	今後も、交流を続けていきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	送迎時や連絡帳を使って支援内容等の状況説明を行っている。	11名の回答のうち、11名の保護者から「はい」という回答をいただきました。	現状の報告等を継続していくほか、質問等今後も丁寧に対応していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリング、個別支援計画書に関して保護者と面談して説明を行っている。	支援内容の説明が分かりやすく丁寧だと回答をいただきました。	今後も、丁寧な説明を面談を通して行っていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	日常的な面でのアドバイスなどは行えているが、専門的な意味でのペアレント・トレーニングまでは行えていない。	いろいろと教えていただいていますと回答をいただきました。	今後、積極的に勉強会等へ出席し知識を増やしより良いアドバイスが行えるようにしていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳を使って支援内容等の状況説明を行っている。	11名の回答のうち、10名の保護者から「はい」1名の方から「どちらともいえない」という回答をいただきました。	今後も、送迎時や連絡帳を使って、日々の様子や課題を伝えていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や連絡帳を使って支援内容等の状況説明を行っている。	コロナ渦の為、なかなか機会がなかったが、定期的に助言はいただきたいと回答をいただきました。	日々の状況報告だけではなく、助言についても積極的に行っていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ渦ということもあり、交流を控えました。	コロナ渦で難しいですが、保護者会はしてほしいと回答をいただきました。	状況を見て、開催していきたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	ご相談を受けた際には、その場で謝罪し職員間で話し合いをしています。	最初にしっかり説明をしていただきたい、怪我の時すぐに連絡があり安心した等の回答をいただきました。	迅速に、気持ちに寄り添った対応をしていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	それぞれに伝わりやすい方法で、丁寧に伝えるようにしています。	イレギュラーな変更などは、前日にも連絡があればうれしいと回答をいただきました。	今後も、分かりやすく確実に伝えられるようにしていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月の広報誌、毎週投稿しているインスタグラムで発信している。	毎月の広報誌やインスタグラムを楽しみにしている等の回答をいただきました。	今後も、広報誌とインスタグラムで発信していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の書類に関して、鍵の施錠を行える棚での管理、ダブルチェックを行うなど十分に注意をしている。	11名の回答のうち、10名の保護者から「はい」という回答を、1名「分からない」と回答をいただきました。	十分注意し取り扱っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	年に3回災害時訓練は行っているが、マニュアルを周知できていなかった。	災害時訓練を行うことは、会報誌でお伝えしているが、マニュアルはお渡しできていなかった。	マニュアルを、早急に保護者の方にお渡します。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に3回災害時訓練を行っている。	災害時訓練を行うことは、会報誌でお伝えしているため「はい」という回答をいただきました。	今後も、年に3回災害時訓練を行っていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に2回虐待研修を行っている。		今後も、年に2回虐待研修を行っていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、身体拘束を必要とする重度の児童はいない。		必要時には、説明を行います。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用開始前の聞き取り、アセスメント時に確認を保護者と行っている。		利用開始前の聞き取り、アセスメント時に確認を行っていきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所内の他、系列事業所とも共有し再発防止のための会議を行っている		今後も継続し事故等の発生を防止できるようにしていきます。